

# 指数テーブル使用方法

## 4. 外板板金修正指数

### 4-2. 指数テーブルの使用方法

#### 1. 指数テーブルの使用方法

指数テーブルの使用方法は以下のような手順となります。

- (1) 損傷面積を求める。
- (2) 3つの難易度判定基準の判定結果より、難易度ランク(A・B・C)を決定する。
- (3) 指数テーブルの損傷面積と難易度ランクの交点を求める指数

#### <難易度判定基準>

##### ①損傷の程度

軽度な損傷か  
 ・一損傷あたりの面積・・・3dm<sup>2</sup>以下  
 ・かつ著しい折れ、つぶれ、伸びが認められない損傷

##### ②損傷の位置

プレスライン部またはパネル端部におよばない損傷か

##### ③損傷部の構造

パネル裏面からハンマおよびドリル、スプーン等で作業ができる損傷か  
 ・付属品を脱着すれば、裏面から作業ができる損傷

すべて  
YES

YES  
NO  
混在

すべて  
NO

指数 テ ー ブ ル	難易度ランク		A	B	C
	面積 (dm <sup>2</sup> )				
	1		0.6	0.8	0.9
	2		0.8	1.0	1.4
	3		0.9	1.3	1.7
	4		1.0	1.4	1.9
	5～6		1.1	1.5	2.1
	7～8		1.2	1.7	2.3
	9～10		1.3	1.9	2.5
	11～14		1.4	2.1	2.8
	15～18		1.5	2.3	3.0
	19～22		1.6	2.5	3.3
	23～26		1.7	2.6	3.5
	27～30		1.8	2.8	3.7
	31～40		2.0	3.1	4.1

図1 難易度判定基準と外板板金修正指数テーブル

## 2. 損傷事例

損傷を想定した2事例を用いて、損傷面積および難易度ランクの判定方法等のご説明します。

事例1 リヤドアの後方パネル端部および中央部の2箇所に損傷（ドアトリムを取外して作業を行うと判断した場合）（図2）

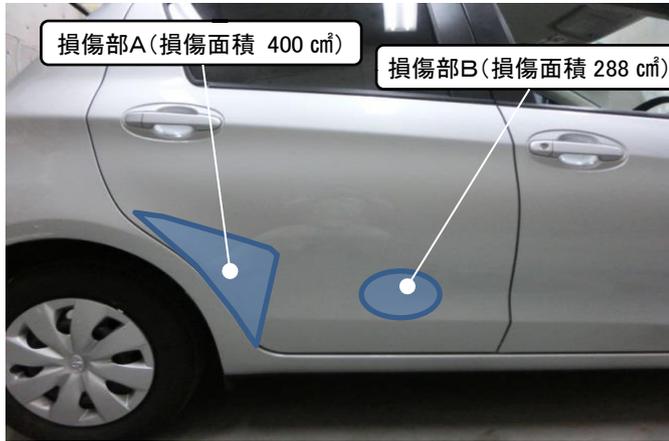


図2 損傷イメージ（リヤドア）

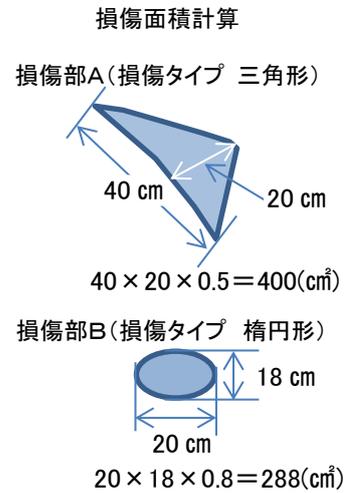


図3 損傷面積計算

- ・ 損傷面積の算出（図3）

損傷部A  $400 \text{ cm}^2$  + 損傷部B  $288 \text{ cm}^2$  =  $688 \text{ cm}^2$  → **損傷面積  $7 \text{ dm}^2$**

- ・ 損易度ランクの算出

< 難易度判定基準 >

**ポイント**: 複数損傷の場合、面積は各損傷面積の合計。

	損傷部A	損傷部B
① 損傷の程度		
軽度な損傷か ・一損傷あたりの面積・・・ $3 \text{ dm}^2$ 以下 ・かつ著しい折れ、つぶれ、伸びが認められない損傷	NO	YES
② 損傷の位置		
プレスライン部またはパネル端部におよばない損傷か	NO	YES
③ 損傷部の構造		
パネル裏面からハンマおよびドリル、スプーン等で作業ができる損傷か ・付属品を脱着すれば、裏面から作業ができる損傷	NO	YES (ドアトリム脱着で裏面から作業可)
難易度ランク	<b>ランクC</b>	ランクA

**ポイント**: 複数損傷の場合、難易度ランクは高い方を採用。

**難易度ランク C**

- ・ 付属品脱着時間の有無

ドアトリムを脱着すれば裏面から作業が行えるので、ドアトリムの脱着作業時間の加算有無を検討します。

### ドアトリム脱着作業時間

※一部付属品は脱着参考時間が指数テーブルに掲載されていますので、これらも参考にしてください。

以上より、本事例の外板板金修正指数は以下の通りとなります。

外板板金修正指数 = 2.3 (損傷面積 7 d㎡、難易度ランク C)

↑ + 付属品脱着時間(ドアトリム)の加算

「同一パネルに複数の損傷がある場合」の判定方法のポイント

損傷面積…損傷面積 (cm<sup>2</sup>) を合計し、d㎡に換算する。  
 難易度ランク…ランクの高い方を採用する。

事例2 フロントフェンダにフロントバンパと隣接したパネル端部に損傷があり、フロントバンパは取替が必要な損傷 (フロントバンパとフェンダライナを取外して作業を行うと判断した場合) (図4)

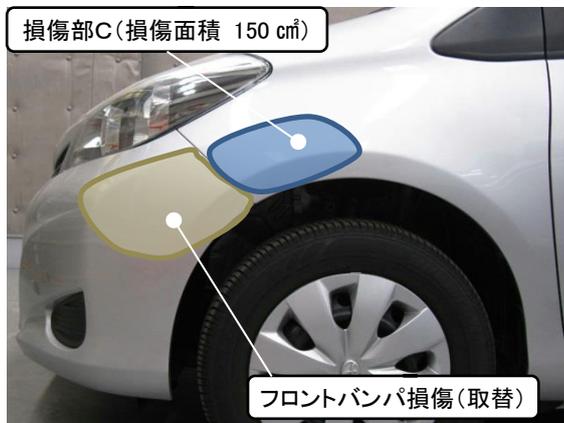
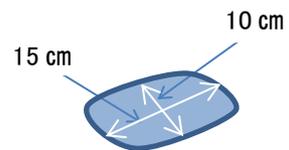


図4 損傷イメージ (フロントフェンダ)

損傷面積計算  
 損傷部C (損傷タイプ 長方形)



$15 \times 10 = 150 (\text{cm}^2)$

図5 損傷面積計算

・ 損傷面積の算出 (図5)

損傷部 C = 150 cm<sup>2</sup> → 損傷面積 2 d㎡

・ 損易度ランクの算出

< 難易度判定基準 >

**ポイント:** 脱着・取替指数で計上されている部品は取外されているものとし、その状態で裏面から作業ができるか判断する。

① 損傷の程度	損傷部 C
軽度な損傷か ・ 一損傷あたりの面積・・・3d㎡以下 ・ かつ著しい折れ、つぶれ、伸びが認められない損傷	YES
② 損傷の位置	NO
プレスライン部またはパネル端部におよばない損傷か	YES
③ 損傷部の構造	(フェンダライナ脱着で裏面から作業可)
パネル裏面からハンマおよびドリル、スプーン等で作業ができる損傷か ・ 付属品を脱着すれば、裏面から作業ができる損傷	
難易度ランク	ランク B

難易度ランク B

### 「③損傷部の構造」判断について

本事例ではフロントバンパとフェンダライナを脱着すれば裏面から作業が行えます。ただし、フロントバンパは取替が必要な損傷部品として脱着・取替指数の「フロントバンパ取替(指数項目B020)」にて計上されています。このような場合の「付属品を脱着すれば、裏面から作業ができる損傷」の難易度判定は以下の通り判断します。

「付属品を脱着すれば、裏面から作業ができる損傷」判定のポイント

**脱着・取替指数にて計上される部品は取外されているものと判断し、この状態で裏面から作業ができる損傷かどうかを判断する。**

#### ・ 付属品脱着時間の有無

フェンダライナを脱着すれば裏面から作業が行えるので、フェンダライナの脱着作業時間の加算有無を検討します。

**フェンダライナ脱着作業時間**

以上より、本事例の外板板金修正指数は以下の通りとなります。

**外板板金修正指数** = 1.0 (損傷面積 2 d m<sup>2</sup>、難易度ランク B)  
↑ + **付属品脱着時間(フェンダライナ)**の加算